

第 50 回 大阪市廃棄物減量等推進審議会 会議要旨

1 日 時 平成 23 年 4 月 12 日（火）午後 2 時から午後 4 時 5 分まで

2 場 所 大阪市環境局 第 1・2 会議室

3 出席者

（委 員）

藤田会長、武田副会長、池田委員、小畑委員、加賀城委員、小林委員、竹内委員、
田村委員、福岡委員、宮川委員、柳川委員、山口委員、吉田委員

（大阪市説明者）

玉井環境局長、東環境局理事、寶田総務部長、松本環境施策部長、青野事業部長、川瀬
廃棄物適正処理担当部長、蓑田施設部長、縣企画課長、松本資源循環課長、嶋村啓発指
導担当課長、村上事業管理課長、藤川技術調査担当課長、森井企画課長代理（司会）

4 議 題 ・ごみ減量の推進について

5 議事要旨

（1）大阪市から、平成 23 年度新規施策について、説明があった。

（2）意見等の概要は以下のとおり

ア 生ごみのバイオガス化実験について、想定処理量を教えていただきたい。

イ 小物金属類の回収方法について、少量の小物金属類を既存の粗大ごみ回収方法を
活用することは困難ではないか。

ウ デジカメや I C レコーダーを廃棄物として排出する場合、記憶されている情報の
流出等が気になる。

エ レアメタルの回収は、粗大ごみとそれ以外とで処理方法を分ける方が良いと思う。

オ 小物金属収集についてコストがかかるため、拡大生産者責任での考え方を大阪市
独自の制度設計で考えていることがあるのか。

（3）今後の対応

今回の審議会を引き続き、次回の審議会にて「平成 22 年度ごみ量（見込み）につ
いて」及び「今後実施を検討している施策と減量の可能性について」の審議を行う。

6 会議資料

第 50 回大阪市廃棄物減量等推進審議会資料